

よりよい基幹交通を目指す

—京都丹波基幹交通整備協議会

理事総会—

8月10日、京都丹波基幹交通整備協議会理事総会が、日吉町生涯学習センターで開催されました。

協議会は南丹市、亀岡市、京丹波町の2市1町で構成し、京都中部地域における高速道路や鉄道などの基幹交通の整備および充実を図ることを目的に、関係団体と連携し、要望活動などを展開されています。

総会では、協議会規約の一部改正や平成29年度事業計画案、歳入歳出予算案が審議され、承認されました。



▲審議を行う委員ら



▲自衛官募集相談員の皆さんと関係者ら

自衛隊と市民との架け橋に

—平成29年度

自衛官募集相談員委嘱式—

7月10日、自衛官募集相談員の委嘱状交付が行われました。今回は継続5人、新規1人の方にお世話になることになり、交付に当たり佐々木市長は「少子化により自衛官の確保が難しくなってきた中、これからの自衛隊を担う人々を一人でも多く募っていたきたい」とあいさつ。相談員の皆さんには2年間を任期に、入隊希望者への情報の提供や本人、家族、企業に対する説明や勧誘などの活動をしていただきます。

美山で自然と文化の学び舎

—放送大学地域貢献プロジェクト

連携・協力に関する協定—

7月20日、京都丹波高原国定公園の自然や文化などの魅力を伝えていくため、放送大学京都学習センターと南丹市情報センター、美山観光まちづくり協会の3者が協定を結び、美山文化ホールで調印式が行われました。

京都丹波高原国定公園に関する講座「森の京都カレッジ」を3年にわたって実施する予定で、今年からは9月から3回の公開講座を開催。この講座を通じて、地域振興や観光に係る人材育成に期待されています。



▲調印式で協定書を交わす3者



▲通勤者に啓発を行う佐々木市長

犯罪のない社会を目指して

—平成29年度

社会を明るくする運動—

昭和26年から始まった「社会を明るくする運動」は、犯罪のない地域社会を築こうとする運動で、犯罪者予防更生法の施行日（7月1日）にちなみ、毎年7月を強化月間として、全国的に啓発活動などが行われています。

7月4日、南丹市では、佐々木市長を先頭に、市内の保護司会や更生保護女性会などの皆さんの協力のもと、早朝にJR園部、八木駅などで街頭啓発を行いました。